平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月2日

上場会社名	宇部興産株式会社		上場取引所　東・福
コード番号	4208	ＵＲＬ　http://www.ube.co.jp	
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）竹下　道夫	
問合せ先責任者（役職名）	ＩＲ広報部長	（氏名）坂本　靖子	（ＴＥＬ）　03-5419-6110
四半期報告書提出予定日	平成23年11月10日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	311,642	5.8	22,649	35.4	20,722	51.1	12,171	60.1
23年３月期第２四半期	294,656	15.0	16,730	134.9	13,714	446.2	7,603	－

（注）包括利益　24年３月期第２四半期　12,310百万円（307.1%）　23年３月期第２四半期　3,024百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第２四半期	12.11	12.09
23年３月期第２四半期	7.56	7.55

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	662,456	218,345	29.3
23年３月期	661,512	211,449	28.3

（参考）自己資本　24年３月期第２四半期 193,934百万円　23年３月期 187,014百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年３月期	—	0.00			
24年３月期（予想）			—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	662,000	7.5	50,000	12.7	44,500	13.8	24,000	39.0	23.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ： 有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外 １社 （社名）ウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・サーニア・プラント,インコーポレーテッド

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無

② ①以外の会計方針の変更 ：無

③ 会計上の見積りの変更 ：無

④ 修正再表示 ：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	1,009,165,006株	23年３月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	3,848,832株	23年３月期	3,824,295株
③ 期中平均株式数 （四半期累計）	24年３月期２Ｑ	1,005,330,760株	23年３月期２Ｑ	1,005,340,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年11月２日（水）・・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の経済情勢は、アジアでは中国をはじめとして一定の景気拡大が継続しましたが、金融引き締め策の影響などによりその勢いは鈍化しており、また欧米では景気回復の度合いが極めて弱く、依然として金融不安が燻る中、失業率も高止まるなど、世界経済は全体として緩やかな回復が続きながらも景気の下振れ懸念が拭えず、不透明な環境が続きました。

一方国内経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱も、その立て直しが比較的順調に進み、景気の持ち直し傾向が継続していますが、円高や海外需要の停滞などにより、そのテンポは緩やかになっています。

このような状況の下、当社グループは２０１０年度から２０１２年度の三カ年の中期経営計画「ステージアップ２０１２ ―新たなる挑戦―」の基本方針に基づき、その二年目として目標の早期達成に向け更なる業績の向上に取組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ１６９億８千６百万円増の３，１１６億４千２百万円、連結営業利益は５９億１千９百万円増の２２６億４千９百万円、連結経常利益は７０億８百万円増の２０７億２千２百万円、連結四半期純利益は４５億６千８百万円増の１２１億７千１百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第２四半期	３，１１６億円	２２６億円	２０７億円	１２１億円
前 年 同 期	２，９４６億円	１６７億円	１３７億円	７６億円
増　減　率	５．８％	３５．４％	５１．１％	６０．１％

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

アジア市場の旺盛な需要に支えられ、ナイロン原料のカプロラクタムの販売は好調で、スプレッド（製品と原料の値差）も前年同期に比べ大幅に拡大しました。ポリブタジエン（合成ゴム）、ナイロン樹脂は、原料調達や自動車向け需要などの面で懸念された東日本大震災の影響が軽微にとどまり、販売は堅調でした。工業薬品は、火力発電向けなどでアンモニアの販売が好調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ１７９億８千９百万円増の１，１５２億４百万円、連結営業利益は８１億６千９百万円増の１３７億７千８百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，１５２億円	１３７億円
前 年 同 期	９７２億円	５６億円
増　減　率	１８．５％	１４５．６％

機能品・ファインセグメント

電子情報材料分野の需要不振のため多くの製品で出荷が伸び悩み、一部の製品では価格が低下しました。またファインケミカル製品、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミド製品は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱の影響も受けました。一方、リチウムイオン電池用の電解液・セパレーターの販売は好調で、セラミックスも太陽電池生産部材用途を中心に需要が旺盛でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ８億９千３百万円減の３３５億４千５百万円、連結営業利益は４億７千８百万円減の３７億２千万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３３５億円	３７億円
前 年 同 期	３４４億円	４１億円
増　減　率	△２．６％	△１１．４％

医薬セグメント

自社医薬品の抗アレルギー剤を中心として、原体・中間体の出荷は概ね順調でしたが、当期はもともと出荷計画が期の後半に集中していることもあり、販売は前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ３億３千３百万円減の３８億２千１百万円、連結営業利益は円高の影響もあり、７億８百万円減の７億円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３８億円	７億円
前 年　同 期	４１億円	１４億円
増　減　率	△８．０％	△５０．３％

建設資材セグメント

セメント・生コン、建材製品の販売は、マンション・住宅着工や企業の設備投資の持ち直しにより下げ止まってきたものの、低水準で推移しました。しかしながら、旺盛な海外需要を受け輸出数量を増加させたことにより、セメント製造設備はフル稼働を維持し、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア・マグネシア製品では、カルシア製品が東日本大震災の影響を受け、全体では販売が低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ５２億２千６百万円増の１，００８億２千５百万円、連結営業利益は６千２百万円減の２９億８百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１，００８億円	２９億円
前 年　同 期	９５５億円	２９億円
増　減　率	５．５％	△２．１％

機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機は出荷、受注ともに増加しましたが、竪型ミルや運搬機等の産業機械は出荷、受注ともに減少しました。成形機、産業機械ともに円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により採算は厳しい状況が続きました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、材料スクラップ価格高騰の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は、本年３月に決定したアルミホイール事業からの撤退の影響もあり、前年同期に比べ７９億３千９百万円減の３３５億７千５百万円、連結営業利益は４億７千１百万円減の６億２千９百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３３５億円	６億円
前 年　同 期	４１５億円	１１億円
増　減　率	△１９．１％	△４２．８％

エネルギー・環境セグメント

石炭の販売は主要顧客である化学・繊維会社向けを中心に増加しました。預り炭についても電力会社向けを中心として、コールセンター（貯炭場）の取扱い数量は堅調に推移しました。電力事業は、燃料である石炭価格は上昇したものの、売電価格の上昇もあり堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ４１億６百万円増の３０８億１千２百万円、連結営業利益は２億３千９百万円増の１５億１千８百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	３０８億円	１５億円
前 年　同 期	２６７億円	１２億円
増　減　率	１５．４％	１８．７％

その他のセグメント

その他の連結売上高は、前年同期に比べ１億５千２百万円増の１２５億５千２百万円、連結営業利益は６千４百万円減の４億円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第２四半期	１２５億円	４億円
前 年　同 期	１２４億円	４億円
増　減　率	１．２％	△１３．８％

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産は前年度末に比べ、商品及び製品などのたな卸資産が１６５億７千１百万円増加しましたが、現金及び預金が１７３億７千６百万円減少したことなどにより流動資産が１４億５千２百万円減少する一方、有形固定資産が１２億７千万円増加し、投資その他の資産が１２億２千６百万円増加したことなどにより固定資産が２４億４百万円増加した結果、９億４千４百万円増加し６，６２４億５千６百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が２３億４千５百万円減少したことなどにより、５９億５千２百万円減少し４，４４１億１千１百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が１２１億７千１百万円増加したことなどにより、６８億９千６百万円増加し２，１８３億４千５百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の連結業績は期初予想を大きく上回りましたが、今後の経済情勢につきましては、欧米の財政危機と新興国での金融引き締めの動きから、世界経済の減速が懸念され、円高や電力不足問題、タイの洪水影響など、事業環境は一段と不透明さを増しています。

平成24年３月期通期業績につきましては、当第２四半期までの業績と上記経済情勢を踏まえ、平成23年５月11日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	６，５００億円	４４０億円	３８０億円	２００億円
今回修正予想(B)	６，６２０億円	５００億円	４４５億円	２４０億円
増減額(Ｂ－Ａ)	１２０億円	６０億円	６５億円	４０億円
増減率	１．８％	１３．６％	１７．１％	２０．０％
前期実績	６，１６０億円	４４３億円	３９１億円	１７２億円

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・サーニア・プラント，インコーポレーテッドは当第２四半期連結会計期間中に清算結了したため、連結の範囲から除外しました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,711	32,335
受取手形及び売掛金	134,914	134,667
商品及び製品	30,093	40,292
仕掛品	16,808	20,243
原材料及び貯蔵品	26,346	29,283
その他	24,207	23,803
貸倒引当金	△378	△374
流動資産合計	281,701	280,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	86,750	85,045
機械装置及び運搬具（純額）	118,098	116,133
土地	82,604	83,069
その他（純額）	26,493	30,968
有形固定資産合計	313,945	315,215
無形固定資産		
その他	4,988	4,896
無形固定資産合計	4,988	4,896
投資その他の資産		
投資有価証券	33,684	33,842
その他	29,308	30,325
貸倒引当金	△2,132	△2,081
投資その他の資産合計	60,860	62,086
固定資産合計	379,793	382,197
繰延資産	18	10
資産合計	661,512	662,456

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,135	86,790
短期借入金	96,859	93,680
コマーシャル・ペーパー	3,000	17,998
1年内償還予定の社債	40	15,020
未払法人税等	5,405	7,168
賞与引当金	7,435	7,395
その他の引当金	1,091	917
その他	46,736	43,759
流動負債合計	249,701	272,727
固定負債		
社債	15,100	100
長期借入金	144,082	132,473
退職給付引当金	7,026	6,779
その他の引当金	6,128	5,746
負ののれん	2,232	2,150
資産除去債務	1,121	1,136
その他	24,673	23,000
固定負債合計	200,362	171,384
負債合計	450,063	444,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,451	28,451
利益剰余金	114,817	121,953
自己株式	△783	△789
株主資本合計	200,920	208,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,152	931
繰延ヘッジ損益	△161	△219
為替換算調整勘定	△14,897	△14,828
その他の包括利益累計額合計	△13,906	△14,116
新株予約権	387	427
少数株主持分	24,048	23,984
純資産合計	211,449	218,345
負債純資産合計	661,512	662,456

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	294,656	311,642
売上原価	240,207	250,271
売上総利益	54,449	61,371
販売費及び一般管理費	37,719	38,722
営業利益	16,730	22,649
営業外収益		
受取利息	241	336
受取配当金	566	425
受取賃貸料	1,125	625
負ののれん償却額	82	79
持分法による投資利益	426	1,062
その他	1,238	1,367
営業外収益合計	3,678	3,894
営業外費用		
支払利息	2,524	2,233
賃貸費用	1,134	648
為替差損	606	737
その他	2,430	2,203
営業外費用合計	6,694	5,821
経常利益	13,714	20,722
特別利益		
固定資産売却益	163	113
持分変動利益	421	－
貸倒引当金戻入額	52	－
特別利益合計	636	113
特別損失		
固定資産処分損	194	266
減損損失	385	49
投資有価証券評価損	19	1,047
特別退職金	16	－
関連事業損失	157	122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	900	－
特別損失合計	1,671	1,484
税金等調整前四半期純利益	12,679	19,351
法人税等	4,811	6,679
少数株主損益調整前四半期純利益	7,868	12,672
少数株主利益	265	501
四半期純利益	7,603	12,171

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,868	12,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△625	△228
繰延ヘッジ損益	10	△57
為替換算調整勘定	△4,173	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	12
その他の包括利益合計	△4,844	△362
四半期包括利益	3,024	12,310
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,014	11,961
少数株主に係る四半期包括利益	10	349

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,679	19,351
減価償却費	16,348	15,880
減損損失	385	49
負ののれん償却額	△82	△79
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△305	△58
受取利息及び受取配当金	△807	△761
支払利息	2,524	2,233
為替差損益（△は益）	△117	121
持分法による投資損益（△は益）	△426	△1,062
固定資産売却損益（△は益）	△162	△108
売上債権の増減額（△は増加）	1,204	830
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,588	△15,876
仕入債務の増減額（△は減少）	5,840	△2,232
その他	△817	△462
小計	28,676	17,826
利息及び配当金の受取額	1,053	1,006
利息の支払額	△2,552	△2,232
法人税等の支払額	△2,577	△4,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,600	11,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△12,028	△23,131
有形固定資産の売却による収入	736	262
投資有価証券の取得による支出	△51	△718
投資有価証券の売却による収入	18	40
短期貸付金の増減額（△は増加）	△832	135
その他	66	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,091	△23,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△11,864	△4,698
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	5,000	14,998
長期借入れによる収入	16,161	4,493
長期借入金の返済による支出	△16,410	△14,312
社債の償還による支出	△540	△20
配当金の支払額	△4,001	△5,008
少数株主への配当金の支払額	△312	△414
その他	△774	△941
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,740	△5,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△842	326
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,073	△17,341
現金及び現金同等物の期首残高	37,281	49,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,208	32,181

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	90,968	32,657	4,154	93,643	41,020	20,966	11,248	294,656	―	294,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,247	1,781	―	1,956	494	5,740	1,152	17,370	△17,370	―
計	97,215	34,438	4,154	95,599	41,514	26,706	12,400	312,026	△17,370	294,656
セグメント利益（営業利益）	5,609	4,198	1,408	2,970	1,100	1,279	464	17,028	△298	16,730

（注1）　セグメント利益の調整額△298百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△301百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	108,786	31,542	3,770	98,834	32,766	24,748	11,196	311,642	―	311,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,418	2,003	51	1,991	809	6,064	1,356	18,692	△18,692	―
計	115,204	33,545	3,821	100,825	33,575	30,812	12,552	330,334	△18,692	311,642
セグメント利益（営業利益）	13,778	3,720	700	2,908	629	1,518	400	23,653	△1,004	22,649

（注1）　セグメント利益の調整額△1,004百万円には、セグメント間取引消去△47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△957百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

（注2）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。